

赤松義弘遺作展

会 期：平成9年4月29日（火）～5月18日（日）

場 所：町立塩江美術館ギャラリーB

入館料：大人300円／高大学生150円／小中生80円

今展覧会は、平成6年に逝去された赤松義弘氏の足跡をたどる遺作展です。生前、煎展等に入選された実績を持ち、すばらしい彫金作品を数多く残されました。その中より約40点あまりの作品を展示して、その足跡をご紹介します。

* 田 各 月 表

明治45年	1月26日	香川郡浅野村（今の香川町浅野）に生まれる。
大正14年		浅野尋常小学校卒業
	同年	県立工業学校金工科入学
昭和5年		同校卒業
	同年	東京美術学校（東京芸大）入学
	10年	本科卒業
	11年	東京美術学校研究科（大学院）修了
	15年	香川県商工奨励館勤務
昭和18～44年		県立高松工業学校勤務、金工科長を務める この間、昭和20年海軍に招集され、佐世保にて勤務、工業高校卒業後、講師として勤務。併ら高松市内で赤松彫金教室を主宰。
平成6年	3月	逝 去 享年83歳

* 展覧会出品歴

昭和17年		第8回県工業美術総合展覧会「人物」出品
昭和26年		第16回煎展入選 「題名不明」
昭和27年		第17回煎展入賞 「日と雲の花瓶」
昭和28年		第18回煎展入選 「花 瓶」
	29年	第19回煎展入選 「みみずくの図額面」
	30年	第20回煎展入選 「水 指」
	31年	第21回煎展入選 「花 器」
	31年	第3回日本伝統工芸展に象嵌花瓶入選
	32年	現代日本工芸美術展に入選 「海老文花瓶」モスクワその他ソ連各都市で巡回展。入選作品をソ連へ寄贈。
	32年	第22回煎展入選 「パネル」
58年	11月10日	高松工業高校創立85周年記念出品作品 「銅金彩建水」を工業高校へ寄贈。